

だいせつぎんのすがお

# 大雪山の素顔

山岳ガイド、旭岳ビジターセンター、自然解説員などで活躍する人たちをリレーしています。高山植物、紅葉、雪、動物など「自然の大博物館」といわれる大雪山の素顔が見えてきます。

## “The Flow of Time” ～ 時の流れ

先月17日、東川町改善センターで「バンフ・マウンテンフィルムフェスティバル」というアウトドアのフィルム上映会を実施した。会場には予想以上の人が集まり、まったくの他人なのに、同じアウトドア・スピリッツを共有する人間が同じ空間と時間を共有し、言葉ではうまく表現できないが、皆が「一体」となった空気が漂っていたように感じる。

このイベントを終え、ふっと考えると、私が東川町に移住して10年目の歳月が流れていることに気がついた。この10年の間に、ケニア共和国に2年間、東川町と姉妹町であるカナダのキャンモア町に数カ月間暮らしていたこともあった。が、今思い起こすと、どこにいても、「東川町」や「大雪山」の存在を近くに感じていたように思う。

そして今、自分がガイドの仕事をするようになってか

らは、「大雪山」や「東川町」を拠点に、今度はケニアやカナダのキャンモアの存在を感じるようになった。

また海外からのお客様さまを案内すると、行ったことのない国であっても、何かつながりを感じる時がある。

「ガイド」と名乗ってはいるが、私は山や自然を案内するだけのガイドではなく、「懸け橋」的な役割でありたいと思う。自然との懸け橋、世界との懸け橋、そして人と人との懸け橋。大雪山という素晴らしい自然へガイドするだけではなく、町から山へ、そして人と人とを。新しい世界を知る、そして広げたい、という人がいれば、そのきっかけ作りのサポートができれば、と思っている。

「旭岳」での仕事をきっかけに東川町で10年。この時間の流れの中で出会った人とのつながり、そして、自分がさまざまな経験をさせてもらったことに改めて感謝している。この先、どのようなことが起こるかはわからないが、どこにいても、大雪山や東川町の存在を感じながら、私の時間は流れていくのであろうと思う。

青木 倫子



## 俳句

雪虫や無声映画のなつかしき	雪降りて織部の湯呑み緑濃く	メリヤスに重ね着されし登校す	お隣りにおはぎ差し出す手に雪虫	青空に千大根まであと三日	雪虫に追われるごとく野菜漬け	雪虫にためらひ進む乳母車	雪虫や儂い命が告げる季節 <small>とき</small> の花	捨て屋敷時忘れじと菊の花	冬空を絵に写しけり大雪山	子の数の綿入れ母の置き土産	重ね着を脱ぎて筆字をたしなみぬ	しがらみは柵と書く冬紅葉	錆色の風にすくと冬薔薇 <small>そらび</small>	あざやかな樹々の重ね着止まる足	雪虫や見たか見たかとまた話す	そっとそっと雪虫のせて歩いてる
石澤清宏	高瀬潤	若田久	横田則子	山口佐知子	杉山りつ	徳光吐苦	保科なほ	杉山ひろのり	高橋公花	小林ろば	長谷川きみゑ	秋山深雪	若田郁	三島智	松山蓉子	澤田久美子

